

一般会計決算の概要

前年度と比べ、歳入は4.3%の増、歳出は2.5%の増となっています。歳入においては、ふるさとづくり寄附金や地方消費税交付金が増加しています。歳出においては、子ども・子育て支援制度の創設による教育・保育給付費や障害福祉サービス事業費が増加しています。



議員からの質疑・意見

決算審査における議員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

□防災
デジタル防災行政同報系無線整備事業

Q 屋外スピーカーの音声が届かないという市民の声に対し、どのような対策を行っているのか。

A 屋外スピーカーと同様の放送内容を無料で確認することができ、テレホンサービスを開始し、また、防災メールでも情報を配信し

ている。さらに、11月から防災ラジオを配布することにより、これまでよりも、情報を受け取る環境が改善されるものと考えている。

□環境

畜犬登録事業

Q 狂犬病予防の集合注射の会場が減少傾向にある理由について尋ねる。

A 動物病院での注射件数が増加する一方、集合注射による件数が減少している。また、会場付近に適切な駐車場がないため、会場の見直しを行ったことが主な要因である。集合注射については、各地域での必要性は認識しているため、当分の間、継続する。

□福祉・医療

子ども医療費助成事業

子ども医療費助成事業については、モーターボート競走事業の収益を財源とする「こども夢基金」ではなく、安定的な財源のもとで事業を実施するよう要望しました。

□観光

観光客受入環境整備事業

ほとんどの市民が、大村公園や道の駅などの市内観光スポット9カ所に設置されている公衆無線LANの存在を知らないため、観光客に対して案内することができない。公衆無線LANの整備だけではなく、市民に対し、設置場所をもっと周知するよう要望しました。

□教育

小学校施設の非構造部材耐震化事業

小学校施設の非構造部材耐震化工事に関して、国の補助対象外となる400万円未満の工事については、市の一般財源で対応しているという現状に対し、このようなハード事業にこそ、こども夢基金を活用すべきとの意見がありました。

□都市整備

冠水対策事業

Q 今年7月13日の大雨により、皆同町の立体交差点で発生した冠水の原因について尋ねる。

A ポンプの処理能力は、当日の降水量を上回っていたため、ポンプ自体に問題があったわけではない。原因としては、本来なら水路から郡川に流れるはずの水が、

越流して流れ込んできたためである。

この答弁に対し、単に用水路やポンプ施設のことだけを考えている限り、今後同じようなことが発生する可能性があるため、まちづくりにおいては、ひとつの部署や施設だけではなく、市全体という視点に立って協議、検討するよう要望しました。

□総務

ふるさとづくり寄附推進事業

Q 障害者団体の商品を返礼品とする予定はないのか。

A 今年度中に、返礼品に取り入れる方向で協議している。また、ふるさと納税については、歳入確保のみならず、産業振興という側面もあるため、いいものは積極的に返礼品として取り入れたい。



注3：建物を構成する部材のうち、建物の骨組みとなる、柱、梁、はり、床などの構造体ではない、天井材や外壁（外装材）など

